

## 【参考１】 安心で安全な学校生活を送るための留意点

時間	留意点
登下校中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校中は、朝食が原因で発症する可能性があるため、到着後、体調不良を訴えた場合、起床時から現時点までの情報収集を行う。</li> <li>・登下校中は、大人の目が離れるため、緊急時の対応が困難となる。そのため、緊急時の対応に関して事前に確認する。</li> </ul>
原因食物を扱う活動 (給食・家庭科など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原因物質に触れたり、吸い込んだり、皮膚に付いたりして、症状が出ないようにする。</li> <li>・アレルギー疾患の児童生徒の原因物質を扱わない活動を心がける。</li> <li>・調理する器具やふきんなどの使用に注意する。</li> <li>・安全性を優先するあまり、食育の機会を逃さないように配慮する。</li> </ul>
体育などの運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後の運動は、食物依存性運動誘発アナフィラキシーを発症しやすいため、注意する。</li> <li>・原因食物を摂取した後は、運動は控える。</li> </ul>
清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机や床に付着した原因物質に触れたり、吸い込んだり、皮膚に付いたりして、症状が出ないようにする。</li> <li>・可能な役割を、事前に教職員及び保護者・本人と確認する。</li> </ul>
宿泊を伴う校外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各アレルギー疾患に対する知識と理解があり、受入れ体制が可能と判断した施設を選択する。</li> <li>・同行する教職員及び保護者・本人で、取組と緊急時の対応の共通理解を行い、役割分担を確認する。</li> <li>・食事が提供される場合、事前に食品成分表や献立を施設の職員及び教職員、保護者・本人で確認し、対応食を協議し決定する。</li> <li>・エピペン（※１）を携帯する場合、主治医・保護者と救急搬送先を確認する。</li> </ul>

※１ １５～３０℃で保管することが望ましい。なお、低温での保管は故障の原因となるため避ける。